



発行 日本共産党国会議員団
2018年 5月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F TEL 045-324-6516

国会活動報告

安倍政治を終わらせ新しい政治を！

5月19日、全国革新懇第38回総会で、志位和夫委員長(全国革新懇代表世話人)が、特別発言を行いました。

(1)市民と野党の共闘の到達と展望、(2)当面する共闘のたたかひの三つの焦点、(3)参院選での勝利・躍進、について発言。

また「絶対に負けられない三つのたたかひ」として、①憲法9条改定の阻止、②新潟県知事選、③11月の沖縄県知事選、をあげました。2019年の参院選では「本気の共闘ができれば、情勢の激変は可能」だと述べ、豊かで魅力ある共通政策づくりの土台に、市民と野党の共闘の「一丁目一番地」である安保法制廃止をすすめる意義を改めて強調し、共闘勝利と共産党躍進への決意を表明しました。



全国革新懇総会で発言する
志位委員長=5月19日都内で

共闘支える3000万署名 25,247人分提出



5月17日、神奈川・千葉・山梨3県の共産党は、安倍9改憲NO!条「3000万人署名」25,247筆(第5次分)を、はたの君枝衆院議員らに託しました。約30人が参加し、しいば寿幸参院比例予定候補、あさか由香(神奈川)、浅野ふみ子(千葉)の両参院選挙区予定候補、さいとう和子前衆院議員も参加しました。

下総基地を視察する(左から)浅野氏、しいば氏、丸山氏、中沢氏、さいとう氏=5月11日千葉県

電話もできない騒音 下総基地視察

船橋市平和委員会は11日、海上自衛隊下総基地(柏市、鎌ヶ谷市)の騒音問題について、同基地を視察しました。視察には、日本共産党のさいとう和子氏、しいば寿幸氏、浅野ふみ子氏に加え、丸山慎一県議、関根和子、岩井友子、金沢和子、中沢学、松崎佐智各船橋市議が参加しました。



下総基地は、P3C哨戒機のパイロットや整備士などの教育施設になっており、平日の朝8時から夜9に、日常的に訓練飛行が繰り返されています。飛行ルートにあたる船橋市では、5分間隔で電話もできないほどの騒音が発生するなどの苦情が住民から出されています。陸上自衛隊習志野演習場パラシュート降下訓練の支援で輸送機が離発着している事、米軍機の飛来も明らかになりました。

丸山県議は、「夜間訓練は、周辺住民の騒音の被害があってもなくなる。また、上空200mの低空飛行は許されない。住宅に囲まれた基地でやること自体が間違っている」と話しました。

性犯罪規定の再改正へ共に 被害者団体と懇談

性暴力・性犯罪の被害者や支援者らでつくる「Spring」と日本共産党国会議員団は5月9日、刑法性犯罪規定の再改正に向けて意見交換しました。山本潤代表理事ら4人と、本村伸子衆院議員、仁比聡平参院議員、さいとう和子、池内沙織両前衆院議員が出席しました。昨年6月に改正された同法には課題が多いとの指摘があり、また「3年後の見直し」規定が盛り込まれています。(右から仁比参議院議員、本村衆議院議員、さいとう、池内前議員→)



右から、あさか氏、はたの議員、しいば氏

武蔵小杉駅にホームドアを！

川崎市中原区のJR武蔵小杉駅の混雑緩和等を求める市民団体「武蔵小杉駅を良くする会」は4月25日、国交省に対し、ホームドアの設置と横須賀線ホームの増設などをJR東日本に指導・要請するよう求めました。はたの君枝議員、しいば寿幸氏、あさか由香氏が同席しました。同駅では、周辺住民の急増などによる激しい混雑が問題になっています。

JRは、2025年度末までに南武線ホームに、32年度末までに横須賀線ホームにホームドアを設置する計画を示しています。はたの氏は、同日がJR福知山線の脱線事故から13年にあたることにふれ、鉄道の安全対策をさらに強化することが必要だと述べました。

木更津陸自オスプレイ 決まってからでは遅い！ 市長「配備は不快」

陸上自衛隊木更津駐屯地に、今年秋にも垂直離着陸機オスプレイ5機が暫定配備されると報じられた問題で、日本共産党千葉県委員会と党県議団は27日、木更津市役所を訪れ、渡辺芳邦市長ら、市幹部と懇談しました。



懇談には、しいば寿幸氏、浅野ふみ子氏、さいとう和子前衆院議員、丸山慎一、寺尾さとし両県議、佐藤多美男、鈴木秀子両木更津市議が出席しました。渡辺市長は、国の防衛政策に自治体が協力するのは当然としつつ、オスプレイの暫定配備の報道を受け「不快感であり、遺憾だ」と述べ、「佐賀の議論がはっきりしていないのにオスプレイの暫定配備はありえない」と話しました。参加者は「暫定配備が決まってからでは遅いので、いまから声をあげてほしい」と訴えました。



日本共産党南関東ブロック事務所だより NO. 45

厚木基地で離発着訓練するな！

日本共産党の神奈川県委員会と県内地方議員団、「爆音をなくし米空母の母港に反対する厚木基地周辺住民の会」は5月2日、米海軍厚木基地を訪れ、同基地での空母艦載機の離着陸訓練を行わないよう申し入れました。申し入れには、はたの君枝議員、しいば寿幸氏、藤井克彦県議、羽生田学(相模原)、宮応扶美子(大和)、松本春男(綾瀬)、星野久美子(座間)の4市議が参加しました。在日米軍は、3日から予定している離発着訓練を、天候次第では厚木基地で行うと通告していました。